



⑪

## 大海大河にも勝れ吉浜っ子

石巻市立吉浜小学校

今回は、吉浜小学校を紹介します。

吉浜小学校は、北上川が太平洋に注ぐ河口にあります。学区は、十二浜の6つの地区からなっています。地区内には「大盤平放牧場」や「白浜海水浴場」「釣石神社」があります。

明治5（一八七二）年に学校が設置され、昭和43年の白浜分校統合を経て現在に至り、全校児童49人の学校です。

吉浜小学校の特色ある取り組みは、地域の良さを生かした生活科や総合的な学習、各種行事です。低学年は、北上川河口の砂浜で「サンドアート」や牧場の「バター作り体験」「海・川・山探検」中学年は、「炭焼き体験」や「塩鮭、干し芋、干し柿作り」を行っています。そして、高学年は、北上川の「ヨシ刈り」やそれを使った「ヨシペン・ヨシ紙・ヨシブ・ヨシ門松作り」や「カヌー体験」などがあります。また、北上川との関わりを深めるために、源流の岩手県水堀小学



このように豊かな自然と恵まれた人とのつながりの中で、子ども達は校舎の正面に大きく掲げられた「大海大河にも勝れ吉浜っ子」をキャッチフレーズに毎日元気で楽しい学校生活を送っています。

校との交流や北上川河口域「ゴミ清掃活動」「海岸清掃隊」へ参加したり、「北上川健康診断土研究発表会」「北上川子どもサミット」など様々な機会を使って北上のよさを広く伝えていく活動を行っています。



複式学級もある小さな学校なので、子ども達は学年に関係なく遊んだり学習したりします。たてわり班を生かして、大盤平への遠足やサツマイモの苗植えと収穫祭、運動会での全校リレー、全校給食など和気あいあいと活動しています。夏には、子ども会の行事として、全校でフクフクキャンプを行い、学校に宿泊もします。

## にぎやか家族 ⑱

沢田



(写真右から) 《子ども達の将来の夢》

- 阿部 匠 くん(12歳) チューバ奏者
- しおり ちゃん(6歳) 犬の看護師
- はるか ちゃん(9歳) 幼稚園の先生

《両親から》

3人仲良く元気で素直に真つすぐ育って欲しい。

### 今月の表紙から

春の味「ばっけ味噌」は、ほろ苦い味覚が春の到来を感じさせる一品です。「ばっけ」は、フキノトウのことで、雪解けとともに暖かな日差しの中に小さな顔を出して、いち早く春の訪れを告げてくれます。

広瀬町下の齋藤さんのお宅では、裏山でフキノトウが顔を出すと、ばっけ味噌作りが始まります。今年は、暖冬のため1月の終わりごろから作業が行われています。

作り方はいたって簡単です。齋藤さん流の作り方は、ニンジン・ゴボウ・シイタケのみじん切り、「マ」、一味唐辛子、味噌、砂糖（味噌と同量）とフキノトウを用意します。鍋にニンジン、ゴボウを入れて蒸すように乾煎りし、水分を飛ば

し、シイタケ、味噌、砂糖を加え、沸騰したらゴマ、一味唐辛子を入れます。最後に、みじん切りのフキノトウを入れて再沸騰したら火を止め冷まして出来上がりです。

湯豆腐や焼きなす、炊きたてのご飯の上のせると格別です。簡単に作れる「我が家の味」に挑戦してみてもいかがですか。



齋藤 悦子 さん(広瀬)



ひだまりの会は、子ども達が数多くすばらしい本に出会い、自由な想像力や相手を思いやる気持ちなど、豊かな心を育ていくためのお手伝いをすることなどを目的に、平成13年1月に発足しました。

主に河北総合センター（ビッグバン）や、河北地区ミニディサービスといった河北地区での活動が多く、絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアターなどを行っています。発足当時は、小さいお子さんを対象にしていますが、現在はご年配の方を対象とした昔話にも取り組んでいます。

また、道の駅「上品の郷」や学校関係からの声かけにより、新たな活動の場も広がり、お子さんと一緒に参加したお父さんやお母さん方にも、聞いていただく機会が増えています。

現在、グループのメンバーは10人です。毎月開催しているおはなし会では、欠かす来てくれるきとももいて、逆に、子ども達からパフォーをもらっていることも多くあります。

おはなし会は、ビッグバン図書室で、毎月第3日曜日午後2時から開催しています。お子さんの参加はもちろんのこと、メンバーとなつてくれる方の募集もしていますので、ぜひ一度、お気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。

何事にも感謝の気持ちを持って生活しています。食事がおいしく食べられることや家族と一緒に暮らせることなど、本当にすべてがありがたいことです。

小さいころから体が丈夫で、病気がしい病気はしたことがありませんでした。現在も健康で、薬も服用していませんし、足腰も丈夫で痛いところがありません。昔は交通手段がなく、よく遠くまで歩いて行つたので、丈夫になつたのではないのでしょうか。

身の回りのことはほとんど自分で行い、食事は家族と一緒に茶の間で食べています。特に好き嫌いはなく、なんでもおいしく食べることができます。3食きちんと食べることで、小さいころからよく食べています。



# サークル仲間

なかま 19

## たくさんのお本を紹介したい 読み聞かせボランティアサークル 「ひだまりの会」

今回は、絵本などの読み聞かせや紙芝居などを行っているボランティアサークル「ひだまりの会」をご紹介します。



# 長寿のひけつ

17

## 感謝の気持ち

村田 と志さん（桃生町永井） 100歳

今月は、3月に100歳の誕生日を迎えられた村田と志さんをご紹介します。

よせずストレスをためないことが健康のポイントです。

明治40年に、現在の仙台市で6人兄弟の2番目として生まれました。高等女学校を卒業後、教員として働いていましたが、昭和2年に結婚。その後、夫の仕事の都合で、北京に10年ほど住んでいました。

桃生町には終戦と同時に住み始めました。子育てをしながら、桃生村長を勤めた夫を支えました。そのかわり、婦人部活動や裁判所調停員などの社会活動にも尽力しました。

現在は、息子、孫夫婦、ひ孫2人の6人で暮らしています。新聞やテレビを楽しみに、家族に見守られながら穏やかに生活しています。